公開シンポジウム

# 家畜化と乳利用その地域的特質をふまえて

## ―搾乳の開始をめぐる仮説を手がかりにして―

日時／二〇一五年五月十六日（土）・十七日（日）
場所／京都大学・稲盛財団記念館 大会議室

●京都駅前から京都市営バス四・十七・二〇五のいずれかに乗車
河原町通「荒神口」下車、東へ徒歩五分
●京阪電車「神宮丸太町」から徒歩五分

### 16日（土）9:00〜17:30

基調講演
谷泰（京都大学名誉教授）
搾乳はいかにして開始されたか？
西アジアにおける家畜化の意味と管理技法の展開から
小長谷有紀（人間文化研究機構）
コメントと質疑応答

文化人類学からの視点〈谷泰仮説をめぐって〉
平田昌弘（帯広畜産大学）
ユーラシア大陸乾燥地における牧畜と搾乳
鳥塚あゆち（法政大学）
南米アンデス地域におけるラクダ科動物の群管理と乳利用不要に関する考察
佃麻美（京都大学）
アンデス牧畜におけるアルパカの母子間関係と介助技法
高倉浩樹（東北大学）
肉利用家畜化の成立条件と牧畜適応の発展／シベリアの事例から
辻貴志（国立民族学博物館）
フィリピン沿岸域の生業と生物資源利用における家畜と乳利用の実態
意見交換・総合討論

### 17日（日）9:00〜16:00

考古学からの視点〈牧畜化と乳利用をめぐって〉
藤井純夫（金沢大学）
定牧・移牧・遊牧／ヨルダンの遺跡調査から
三宅裕（筑波大学）
西アジアにおける乳利用の開始とその意義
本郷一美（総合研究大学院大学）
動物考古学からみた家畜化と乳利用開始
鵜澤和宏（東亜大学）
動物考古学から探るアンデス的牧畜の起源
池谷和信（国立民族学博物館）
コメントと質疑応答
全体討論

主催／基盤研究（A）「乳文化の視座からの牧畜論考―全地球的地域間比較による新しい牧畜論の創生」（代表・平田昌弘）
後援／基盤研究（S）「肥沃な三日月弧」の外側：遊牧西アジアの形成史に関する先史考古学的研究」（代表・藤井純夫）
新学術領域研究（領域代表：常木晃）「西アジア都市文明の資源基盤と環境」（代表・本郷一美）
日本沙漠学会沙漠誌分科会　乳の学術連合「乳の社会文化ネットワーク」

写真 シリアのアラブ系牧畜民の人工哺乳

お問い合わせ／シンポジウム事務局　平田昌弘　E-mail: masa@obihiro.ac.jp　事前にE-mailにて出席をお申し込み下さい